

企業との連携

「手ぬぐい」でナショナル・トラストを応援

安全で人にも環境にもやさしい天然素材にこだわった製品づくりをすすめる宮本株式会社(本社：大阪市)が、手ぬぐい専門ショップ「JIKAN STYLE」を東京都内にオープンしました。

地球環境に対する人々の意識が高まる中で、手ぬぐいを通して地球環境保全活動に参加していきたいという思いから、今回のオープンに合わせたキャンペーン、『デザインの手ぬぐいで地球を救え～』を実施中です。これは、様々なジャンルのクリエイターによるデザイン手ぬぐいを制作・販売し、その売り上げの一部をナショナル・トラスト活動に寄付するというキャンペーンです。



■JIKAN STYLE 表参道店

東京都渋谷区神宮前 5-11-11

商品はもちろん、店内の陳列方法も斬新で素敵です。

— 宮本株式会社 —



キャンペーン対象のデザイン手ぬぐいは現在6種類。今後も、新たなデザインが加わる予定です。

ご支援ありがとうございます

～ 2009 年度にご協力いただいた企業・団体の皆様～

■ ご寄付 ■

株式会社アリスホーム 泉佐野市公園緑化協会 株式会社加賀屋商会 有限会社キタガワ トヨタウエイズグループ ナショナル・トラストサポートセンター ナチュラルメディカル ナチュラル&ハーモニック プランツ 株式会社日陸・社員有志株式会社ニッキバンドル 日本メディカルシステム株式会社 ネットオフ株式会社 ヤフー株式会社 ライオン歯科材料株式会社 株式会社リクルート

■ 団体賛助会員 ■

アムウェイ・ネイチャーセンター 岩谷産業株式会社 関西電力株式会社 株式会社ジューテック 株式会社神鋼環境ソリューション 新日本製鐵株式会社 セガサミーホールディングス株式会社 株式会社竹中工務店 東京電力株式会社 トヨタ自動車株式会社 日本エコツーリズム協会 株式会社日本色材工業研究所 日本メディカルシステム株式会社 東日本電信電話株式会社 フロー工業株式会社 フンドーキン醤油株式会社 株式会社マガジンマート マルイグループ福祉会 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 有限会社ヨガワークス

■ イベント協賛 ■

アムウェイ・ネイチャーセンター 株式会社竹中工務店

■ その他 ■

住友信託銀行株式会社 大成建設株式会社 ブロードメディア株式会社

エコポイント環境寄付も集まっています！

当協会は、家電・住宅エコポイントの環境寄付対象団体となっています。2009年8月から2010年7月の間に、個人の皆様や企業・団体の皆様から、家電エコポイントによる環境寄付54万126円をいただきました。エコポイントによる寄付金は、ナショナル・トラスト活動を進めるための土地購入費用とトラスト地の維持管理費用として活用します。

メディアへの掲載



■「能登・トキの森トラスト」取得のニュースが、新聞で紹介されました。

「穴水の山林が北陸初トラスト地に」(7/27 朝日新聞石川県版)

「北陸で初トラスト地 能登トキの森」(7/28 中日新聞)

「日本ナショナル・トラスト協 能登の森林取得 北陸3県初」(7/29 日経新聞)

■ANA 国内線機内誌「翼の王国」に当協会の事務局長の紀行文が掲載されました。今回は、佐渡でトキと共生する里を守る取り組みを紹介しました。

「生物多様性紀行 トキ舞う里」(ANA グループ機内誌・翼の王国 2010年7月号)

ナショナル・トラスト

編集/発行 社団法人日本ナショナル・トラスト協会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル

TEL. 03-5979-8031 FAX. 03-5979-8032 <http://www.ntrust.or.jp/>

Copyright©2010 The Association of National Trusts in Japan All Rights Reserved



残暑お見舞い申し上げます。いつも当協会の活動にご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

当協会では、昨年12月に岡山県内における2カ所のトラスト地取得につづき、6月に「能登・トキの森トラスト」を取得したところです。今年の秋には、生物の多様性に関する国際会議(COP10)が名古屋で開催されることもあり、絶滅の危機にひんする希少生物に注目し、それらの生息地を確保していく取り組みを進めています。こうした活動が展開できますのも、会員の皆様やボランティアの皆様のご支援があってこそのことと感謝しています。日本の美しい自然と、それを基盤に育まれる歴史的な環境を永久に守っていくため、これからもより一層努力してまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

写真：英国ナショナル・トラストの所有地として守られている英国・湖水地方、ダーウェント湖

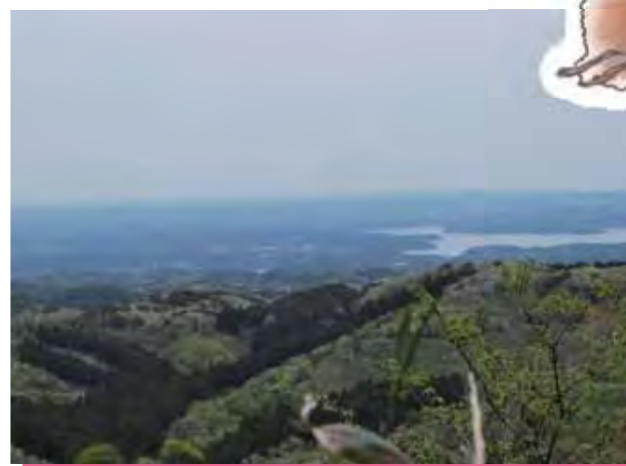
ト ラスト地取得プロジェクト

■「能登・トキの森トラスト」を取得しました

6月25日に、当協会の北陸初のトラスト地、「能登・トキの森トラスト」が誕生しました。場所は石川県の北部、七尾湾をのぞむ穴水町内で、面積20haほどの森です。穴水町は、1971年まで、本州最後のトキである「能里(のり)」が生息していた地です。ちょうど今年の4月には、佐渡で放たれたトキが40年ぶりに町内の田んぼに戻ってきたという明るいニュースが流れましたが、今回のトラスト地は、このトキが舞い降りた田んぼから4kmほどの距離にあります。将来、この森がトキの生息地となることを願って「能登・トキの森トラスト」と名付けました。

今回のトラスト地も、昨年12月の「美作・水源の森トラスト」(約60ha)、「津山・水源の森トラスト」(約5ha)に引き続き、兵庫県内にお住まいの米田様からご寄付いただいたものです。

当協会では、2007年9月の「富士山高原トラスト」の取得を皮切りに、全国の豊かな自然や美しい風景を守るためのトラスト地取得を進めてきましたが、今回で当協会のトラスト地は9カ所、面積の合計は120haに達しました。



七尾湾をのぞむ「能登・トキの森トラスト」



● 当協会のトラスト地



北限のブナ林

自生北限の北海道・黒松内町のブナ林。温暖化の指標としても注目されている。

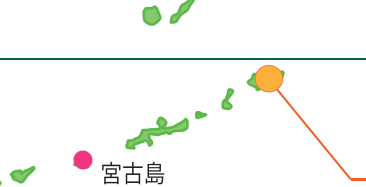


写真：斎藤均

■希少生物の生息地を取得していきます

生物の多様性を守る国際会議(COP10)の開催を控えた今年、当協会においても、「絶滅のおそれのある希少生物」に焦点を当てたナショナル・トラスト活動に取り組んでいます。

現在、自然生態系の保全に取り組むシンクタンクの(財)日本生態系協会と連携し、情報収集や土地の選定などを進めているところです。特に今年は、住友信託銀行のキャンペーンを通じた寄付を活用し、絶滅の危機にあるツシマヤマネコとアマミノクロウサギ、そして地球温暖化の指標ともなる北限のブナ林を中心に、生息地の取得を行っていきたく考えています。このキャンペーンは、住友信託銀行がグリーンバランスファンド(愛称：グリーングリーン)の販売件数に応じて、希少生物を守るためのトラスト活動に寄付をするという期間限定の「ナショナル・トラスト応援企画」です。



宮古島

アマミノクロウサギ
鹿児島県の奄美大島・徳之島にのみ生息する、最も原始的形態を残す貴重なウサギ。



写真：常田守



ツシマヤマネコ

長崎県・対馬にのみ生息。個体数の減少が続き、現在は100頭にも満たない絶滅寸前の種。

写真：山村辰美

ト ラスト団体ニュース

■100平方メートル運動の森・トラスト (斜里町)



33年前、「知床で夢を買いませんか」をキャッチフレーズに始まった知床100平方メートル運動。その誕生と発展、そして現在の活動や、運動に参加した様々な人々の思いなどを、多くの証言や資料をもとにとりまとめた新書が、3月に斜里町より発行されました。読み応えのある一冊です。(辰濃和男編著/関根郁雄・深沢博著/朝日新書/777円)

■NPO 法人ツシマヤマネコを守る会

ツシマヤマネコを守る会(長崎県対馬市)は、当協会と(財)自然保護助成基金の共催による「第5期ナショナル・トラスト活動助成」を活用し、ツシマヤマネコの生息地となる2haの山林を取得しました。

対馬は、島の約9割が民有地となっており、生息地が開発などにより失われる可能性が高く、ツシマヤマネコが安心して暮らせる保護区をさらに拡大していくことが急務となっています。

■(財)トトロのふるさと財団

トトロのふるさと財団(埼玉県所沢市)は、6月14日に12カ所目のトラスト地を取得しました。狭山丘陵を取り囲む5215㎡の雑木林です。コナラやミズキからなる雑木林では、キビタキやヤマガラなどの野鳥、ミヤマセセリ、コツバメなどの蝶が舞い、周辺の森にはオオタカやフクロウの営巣も確認されています。

■NPO 法人ウエットランド中池見

日本ユネスコ協会連盟が昨年より開始した「プロジェクト未来遺産」に、ウエットランド中池見(福井県敦賀市)による中池見湿地の保全活動が選定されました。

未来遺産は、未来に伝えたい文化や自然遺産を伝える市民の活動を登録し、日本全体で応援する仕組みです。豊かな生態系と水田農業が併存し、自然と文化が融合した景観を守っている活動が評価されました。

